

彙 報

教員の主な研究活動・社会活動 (2024年度)

*2023年度紀要掲載分以降（2023年11月から2024年10月まで）

**2024年度に新規に採用された教員は過去5年間の業績を含む

***各学科ごと教員五十音順に掲載（2024年度紀要は、「福祉コミュニティ学科」教員分を先に掲載する）

****彙報の執筆要領は以下の通り

（氏名）〇〇 〇〇

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等
2. 学会発表
3. 報告書
4. 科研費等研究
5. その他

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等
2. 行政・関係団体活動等
3. 研修会・講演会等
4. その他

※彙報編集作業にご協力ください。

①文字について

フォントは本文に関しましては「ゴシック」で、数字に関しましては「Century」で、フォントサイズは10.5での入力をお願いいたします。

②項目について

著書、論文等は必要に応じて、以下（1）（2）等見出しを立ててご記入ください。他の項目に関しましては同様にお願いいたします。

③本紀要において記載すべき著書・論文・学会発表等の表記方法は、先生方の所属されている主な学会における表記方法でかまいません。

大津 雅之

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

・著書

- (1) 共著：(編集) 障害福祉サービス実務研究会・(代表) 柳田正明『わかりやすい 障害福祉サービスの実務―追録第10号―』新日本法規、2023年12月、1017-1018。
- (2) 単著：「Q & A21ソーシャルワークにおける「自己覚知」を活用した研修方法は？」田中謙・小川英彦編著『ダイバーシティ・インクルージョン保育を進めるための園経営ガイドブック』三学出版、2024年7月。

2. 論文等

- (1) 単著：(査読有・論文) 大津雅之「ソーシャルワーカーの『自己覚知』に関する理論研究―『自己覚知』の重要性と発展的理解を図る意義の明確化―」『人間教育と福祉』（日本教育福祉学会）(13) 2024年3月、17-29。
- (2) 共著：(査読有・資料) 青柳修平・大津雅之・青柳暁子・田中謙「障害者就労支援施設における自閉症従事者の作業量を安定させるシミュレーションモデルの構築」『ヘルスプロモーション・リサーチ』（日本ヘルスプロモーション学会）16（1）、2024年3月、40-45。
- (3) 共著：(査読有・資料) 丹澤裕奈・大津雅之・田中謙・森川洋・井上美和月「出生前診断及び胎児の障害を理由とする選択的人工妊娠中絶から考えるクライアントの主体的な自己決定を支えるソーシャルワークの必要性」『ヘルスプロモーション・リサーチ』（日本ヘルスプロモーション学会）16（1）、2024年3月、46-51。

3. 学会報告

- (1) 共同：青柳修平・大津雅之・青柳暁子・田中謙「『保護バッファ』概念の生産システムへの導入の考察」、日本ヘルスプロモーション学会 第20回学術大会・総会、2023年12月3日。
- (2) 共同：青柳修平・大津雅之・青柳暁子・田中謙「インクルーシブ社会のモノづくりをシミュレーションするゲーム教材の試作：障害者就労支援施設の生産システムを題材に」、日本教育福祉学会第13回研究大会、2024年2月25日。
- (3) 共同：青柳修平・大津雅之・青柳暁子・田中謙「インクルーシブ生産システムの連年のシミュレーション―試作的ゲーム教材による障がい者と健常者の協業の検討―」、日本教育福祉学会第14回研究大会、2024年9月28日。
- (4) 単独：大津雅之「学生時代における『自己覚知』の成立条件に関する考察」、日本教育福祉学会第14回研究大会、2024年9月28日。
- (5) 共同：青柳修平・大津雅之・青柳暁子・田中謙「インクルーシブ社会における生産システムの考察―障がい特性を優先する自律分散システムの連なり―」、日本社会福祉学会第72回秋季大会、2024年10月27日。
- (6) 単独：大津雅之「『閉じられた自己』という側面から考察する『自己覚知』の展開―多面

的視点から援助者としての自己を把握する手法の構築に向けて一」、日本社会福祉学会第72回秋季大会、2024年10月27日。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

所属学会

- 日本社会福祉学会（会員）
- 日本ヘルスプロモーション学会（会員）
- 日本学習社会学会（会員）
- 日本教育福祉学会（会員）
- 日本ソーシャルワーク学会（会員）

職能団体

- 日本社会福祉士会（会員）
- 山梨県社会福祉士会（会員）
- 日本介護福祉士会（会員）
- 山梨県介護福祉士会（会員）

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県障害者自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 協力員、2017年度～現在
- (2) 中央市・昭和町地域自立支援協議会 協議会委員、2018年度～現在
- (3) 中央市・昭和町計画相談事業所連絡会スーパーバイザー・アドバイザー、2021年度～現在
- (4) 中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」事例検討会スーパーバイザー・アドバイザー、2021年度～現在

3. 研修会・講演会等

- (1) 令和6年度中央市こども家庭センター事例検討会スーパーバイザー・アドバイザー：中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」事例検討会スーパーバイザー・アドバイザーからの展開版社会貢献活動（助言・指導）中央市役所、2024年4月1日-2025年3月31日（予定）。
- (2) 令和6年度中央市・昭和町計画相談事業所連絡会『『つながりと居場所づくりの会』運営規定の活用導入編』スーパーバイザー・アドバイザー（コメンテーター, 司会, 企画, その他）中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」、2024年6月20日-2025年2月25日（予定）。
- (3) 日本社会福祉学会第72回秋季大会「方法・技術④（C301）分科会」（司会）日本福祉大学東海キャンパス、2024年10月27日。

久保木智洸

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

論文

- (1) 久保木智洸『スティーブ・ジョブズは何をもたらしたかー自閉スペクトラム特性とそれによるパラレルワールドをめぐってー』, 日本病跡学雑誌, 107, 17-34, 2024年6月【査読あり】

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- 日本精神神経学会（会員）
- 山梨県精神保健福祉士協会（会員・事務局）
- 日本児童青年精神医学会（会員）
- 日本自閉症スペクトラム学会（会員）
- 日本学校ソーシャルワーク学会（会員）
- 日本病跡学会（会員）
- 日本精神保健福祉学会（会員）
- 日本社会福祉学会（会員）

2. 行政・関係団体活動等

- 1) 甲府地方裁判所・精神保健参与員
- 2) 社会福祉法人子育て・発達の里（スーパーバイザー）
- 3) 第19回山梨県社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会（共同座長）

3. 研修会・講演会等

- 1) 信州大学附属病院子どものこころ診療部 発達障害家族教室 講師 （年2回）
- 2) 信州大学教育学部 「精神疾患とその治療」講師 2024年2月2日
- 3) 山梨県立甲府城西高校 介護職員初任者研修「こころの理解」講師 2024年9月3日
- 4) 専門学校甲府医療秘書学院「健康とは、疾病とは」講師 2024年9月～10月（3回）

高橋 幸裕

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

著書（共著）

- (1) 高橋幸裕「第3章 社会問題と社会構造」『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 社会福祉の原理と政策』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集、pp.89-108、中央法規出版株式会社、2021年
- (2) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 編集「社会福祉士国家試験模擬問題集2022」＜問題＞p.82、104、144＜解説＞183、184、196、中央法規出版株式会社、2021年
- (3) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 編集「社会福祉士国家試験模擬問題集2023」＜問題＞p.16、144、145、146、195＜解答＞p.20、182、183、184、185、中央法規出版株式会社、2022年
- (4) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 編集「精神保健福祉士国家試験模擬問題集2023」＜問題＞p.53、198、221＜解答＞p.64、238、239、中央法規出版株式会社、2022年
- (5) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 編集「社会福祉士国家試験模擬問題集2024」＜問題＞p.14、15、82、145＜解説＞p.18、19、20、21、22、104、185、中央法規出版株式会社、2023年
- (6) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 編集「精神保健福祉士国家試験模擬問題集2024」＜問題＞p.50、51、125、197＜解説＞p.60、61、62、63、64、154、243、中央法規出版株式会社、2023年

（論文：筆頭執筆者）

- (1) 高橋幸裕「介護・看護現場における介護職・福祉職・看護師の『看取り』と『死』の持つ意味の違いによる終末期支援のあり方に関する研究」『尚美学園大学総合政策論集』第29号 pp.1-24、尚美学園大学総合政策学部総合政策学会、2019年12月
- (2) 高橋幸裕・角能・牛草茂丈「在宅介護現場における終末期介護を支える家族支援のあり方に対する研究－介護職・福祉職・看護職の連携による実践からの考察－」『公益財団法人生協総合研究所 生協総研賞 第16回助成事業研究論文集』 pp.82-100、公益財団法人生協総合研究所、2020年3月
- (3) 高橋幸裕・角能「終末期にある高齢者に対する円滑な支援を実現するための課題と方法に関する研究－専門性の違いを踏まえた円滑な終末期支援を実現するための課題分析－」『尚美学園大学総合政策論集』第30・31号（合併号）、pp.23-56、尚美学園大学総合政策学部総合政策学会、2020年12月
- (4) 高橋幸裕・林和秀「訪問看護・介護現場における終末期ケア実施時の専門職の役割と課題」『尚美学園大学総合政策論集』第33号、pp.25-49、尚美学園大学総合政策学部総合政策学会、2021年12月
- (5) 高橋幸裕・林和秀「高齢者に対する認知症関連政策と認知症ケアが抱える課題」『尚美学園大学総合政策論集』第35号、pp.33-51、尚美学園大学総合政策学部総合政策学会、2022年

12月

- (6) 高橋幸裕・林和秀「介護職による終末期ケア実践のための養成カリキュラムに関する理論的考察」『尚美学園大学総合政策論集』第37号、pp.1-30、尚美学園大学総合政策学部総合政策学会、2023年12月

(論文：共同執筆者)

- (1) 角能・高橋幸裕「終末期介護における職種間コミュニケーションの課題の多面的考察－介護職・ケアマネジャー・看護職へのアンケート調査を踏まえて－」『尚美学園大学総合政策研究紀要』第34号、pp.35-63、総合政策学部メディア・紀要委員会、2019年9月
- (2) 角能・高橋幸裕「ケアマネジャーの出身職種とターミナルケアにおける対医療職コミュニケーションとの関係の考察」『尚美学園大学総合政策研究紀要』第36号、pp.1-18、総合政策学部メディア・紀要委員会、2020年9月
- (3) 角能・高橋幸裕「ターミナルケアにおける家族支援に関する考察－悔いのない看取りに向けた職種間の役割分担に注目して－」『尚美学園大学総合政策研究紀要』第37号、pp.1-21、総合政策学部メディア・紀要委員会、2021年3月
- (4) 角能・林和秀・高橋幸裕・伊藤直子「ターミナルケアにおける職種間関係の考察－看護職・介護職・福祉職の間の認識の齟齬に注目して－」『総合政策論叢』第44号、pp.27-49、島根県立大学総合政策学会、2022年11月
- (5) 角能・高橋幸裕・林和秀「コロナ禍でのケアマネジャーの事業管理に関する考察－感染症下でのケアの調整－」『総合政策論叢』第46号、pp.63-86、島根県立大学総合政策学会、2023年11月
- (6) 角能・高橋幸裕「コロナ禍における看護・介護の事業管理の考察－感染症下の医療と生活の支援」『総合政策論叢』第47号、pp.37-60、島根県立大学総合政策学会、2024年3月

(研究ノート等（執筆筆頭者）)

- (1) 高橋幸裕「介護のヘルスリテラシー：我々は介護に対してどんな備えをしていくことが求められるのか」『研究所報いのちとくらし』第66号、pp.16-20、特定非営利活動法人非営利・協同総合研究所いのちとくらし、2019年3月
- (2) 高橋幸裕「訪問介護現場における終末期介護サービス提供の導入に関する課題（前編）」『ホームヘルパー』no.511、令和2年1,2月合併号、pp.6-12、日本ホームヘルパー協会、2020年1月
- (3) 高橋幸裕「訪問介護現場における終末期介護サービス提供の導入に関する課題（後編）」『ホームヘルパー』no.512、令和2年3月号、pp.7-12、日本ホームヘルパー協会、2020年3月
- (4) 高橋幸裕「進まない介護・看護分野における国際化と新型コロナウイルスの影響」『大阪保険医雑誌』2020年12月号、pp.24-28、大阪府保険医協会、2020年12月
- (5) 高橋幸裕「終末期ケアを実践する専門職がもつ価値観の違い」『ふれあいケア』2021年2月号、pp.19-27、社会福祉法人全国社会福祉協議会、2021年1月

(研究ノート等 (共同執筆等))

- (1) 角能・高橋幸裕「ターミナル期の多職種連携における福祉職の役割と職種間関係に関する考察－福祉職・看護職・介護職への聞き取り調査を踏まえて－」『社会政策』第12巻2号、pp.125-132、2020年11月

2. 学会発表

(学会報告 (単独))

- (1) 2023年10月 高橋幸裕「書評分科会 金谷信子 (広島市立大学)『介護サービスと市場原理：効率化・質と市民社会のジレンマ』(大阪大学出版会)」社会政策学会第147回大会 立命館大学

(学会発表 (共同報告者))

- (1) 2019年6月 角能・高橋幸裕「終末期ケアにおけるコミュニケーションの実証的考察－介護職・ケアマネジャー・看護師への調査結果を踏まえて－」福祉社会学会第17回大会 明治学院大学
- (2) 2021年10月 角能・高橋幸裕・伊藤直子・林和秀「ターミナルケアにおける職種間関係の考察－看護職・介護職・福祉職の間の認識の齟齬に注目して－」社会政策学会第143回学会 福島大学 (オンライン開催)
- (3) 2023年7月 角能・高橋幸裕「コロナ禍での介護・福祉・看護の事業管理における視点の比較－感染症下での介護福祉医療の役割分担に注目して－」福祉社会学会第21回大会 同志社大学
- (4) 2024年10月 角能・高橋幸裕「コロナ禍での専門職による利用者のケアに関する考察－具体的なケースを踏まえて－」社会政策学会第149回大会 大分大学

3. 報告書

- (1) 高橋幸裕・角能・古賀恵海「公益財団法人太陽生命厚生財団 2017年度研究助成事業 訪問介護現場における多職種連携に基づいた終末期介護の円滑な支援方法に関する研究」尚美学園大学総合政策学部総合政策学科高橋幸裕研究室、2019年3月
- (2) 高橋幸裕・角能・牛草茂丈「公益財団法人生協総合研究所 第16回 (2018年度) 生協総研賞『助成事業』在宅介護現場における終末期介護を支える家族支援のあり方に対する研究－介護職・福祉職・看護職の連携による実践からの考察－」尚美学園大学総合政策学部総合政策学科高橋幸裕研究室、2020年3月

4. 科研費等研究

(科学研究費助成事業 単独)

- (1) 2020年度～2024年度 高橋幸裕「独立行政法人日本学術振興会 令和2～6年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (若手研究 課題番号20K13772) 終末期における認知症高齢者の自己決定の尊重と看取りを実現するための基礎的研究」

(民間団体助成 研究代表者:共同)

- (1) 2018年度～2019年度 高橋幸裕・角能・牛草茂丈「公益財団法人生協総合研究所 2018年度(第16回)生協総研賞『助成事業』在宅介護現場における終末期介護を支える家族支援のあり方に対する研究ー介護職・福祉職・看護職の連携による実践からの考察ー」
- (2) 2020年度～2021年度 高橋幸裕・伊藤直子・角能・林和秀「公益財団法人笹川保健財団研究助成Ⅰ研究 訪問看護・介護現場における多職種連携に基づいた終末期ケアのあり方に関する研究ー中心的役割を担う看護師を念頭に置いた介護職、福祉職の連携方法の確立を目指して」
- (3) 2020年度～2022年度 高橋幸裕・伊藤直子・角能・林和秀「公益財団法人労働問題リサーチセンター令和2年度研究助成 訪問介護・看護現場における新型コロナウイルス対策の課題ー介護職・看護師・福祉職の労働環境悪化と経営環境の変化に関する実態調査ー」
- (4) 2020年度～2023年度 高橋幸裕・伊藤直子・角能・林和秀「特定非営利活動法人非営利・協同総合研究所いのちとくらし 2020年度研究助成 訪問介護・看護現場における介護職、看護師、福祉職の新型コロナウイルス対策と課題に関する実態調査ー職業的脆弱性の克服に向けてー」

(団体助成 共同研究者)

- (1) 2023年度 山本則子、高橋幸裕、渡邊祐紀、二宮彩子、平原優美、東京大学大学院医学系研究科高齢者在宅長期ケア看護学分野研究室他「文部科学省令和5年度成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」

5. その他

(メディア)

- (1) 高橋幸裕「2021年1月20日 朝日新聞東京本社版朝刊(埼玉首都圏版) 声 @ 埼玉 コロナ禍のもとで掲載『家族4人、共に暮らしたい』」

II . 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

社会政策学会

福祉社会学会

※福祉社会学会2019年度 査読委員

日本介護福祉学会

日本介護学会

日本グリーン & ビリーブメント学会 (2023年7月退会)

2. 行政・関係団体活動等

(行政)

- (1) 2023年度～現在 川越市「総合福祉センターオアシス運営協議会」会長
- (2) 2023年度～現在 川越市「地域自立支援協議会」座長

- (3) 2023年度～現在 川越市「地域自立支援協議会個別分科会 地域移行分科会」分科会長
- (4) 2024年度～現在 川越市「障害者施策審議会」会長

(公益財団法人等関係団体)

- (1) 2019年度～2021年度 公益財団法人介護労働安定センター奈良支所「奈良労働局委託事業 介護分野における人材確保のための雇用管理改善推進事業」雇用管理改善企画委員会座長
- (2) 2019年度～2021年度 公益財団法人介護労働安定センター京都支部「京都労働局委託事業 介護分野における人材確保のための雇用管理改善推進事業」雇用管理改善企画委員会座長
- (3) 2020年度～2024年度 公益財団法人日本訪問看護財団「訪問看護師向け在宅看取り教育プログラムの開発」検討委員会委員
- (4) 2022年度 みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社「公益財団法人日本財団委託事業 2022年度会計監査事業外部評価 一般社団法人ホームホスピス協会における外部評価」アドバイザー
- (5) 2022年度～現在 公益社団法人日本介護福祉士会「学術推進委員会」委員
- (6) 2023年度～現在 公益社団法人日本介護福祉士会「研究倫理審査会」委員

3. 研修会・講演会等

- (1) 2019年12月 認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー / 公益財団法人川崎市生涯学習財団 主催「かわさき市民アカデミー 2019年度後期 社会福祉ワークショップ『社会福祉入門』サクセスフル・エイジングの光と影ーサードステージの生き方」
- (2) 2020年11月 認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー / 公益財団法人川崎市生涯学習財団 主催「かわさき市民アカデミー 2020年度後期社会福祉ワークショップ『社会福祉入門』高齢者福祉はどのように行われているのかー新型コロナウイルスの影響と対策」
- (3) 2021年6月 認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー / 公益財団法人川崎市生涯学習財団 主催「かわさき市民アカデミー 2021年度前期 社会福祉ワークショップ 地域福祉・地域共生社会を学ぶー社会福祉の現場を学ぶ『人生の最期までを支える地域包括ケアシステムの活用と課題』」
- (4) 2022年9月 同志社社会保険労務士会クローバー会主催「高齢者を支える介護職の働き方と課題ー介護労働研究から見えてきたことを中心にー」
- (5) 2024年11月 尚美学園大学総合政策学部総合政策学科「公共・社会貢献コース コース演習Ⅱ 特別講義『人口減少・超高齢社会日本において求められる人材・能力について考えるー現代社会において専門職だけが必要な人材なのか？ー』」
- (6) 2025年2月 山本則子、高橋幸裕、渡邊祐紀、二宮彩子、東京大学大学院医学系研究科高齢者在宅長期ケア看護学分野研究室他「介護職・看護職向け End-of-life ケア（看取り）リスキルプログラム」研修会講師

4. その他

(民間団体)

2020年3月 公益財団法人日本財団 公益事業部国内事業開発プロジェクト「ホームヘルパー向

け在宅看取り研修」(学識経験者として助言)

2020年5月 公益財団法人日本財団公益事業部国内事業開発プロジェクト「訪問介護現場における新型コロナウイルス対策と課題」(学識経験者として助言)

2020年5月 公益財団法人日本財団主催 日本ホームヘルパー協会「訪問介護現場における新型コロナウイルス対策に関する理論的支援課題ヒアリング」(学識経験者として助言)

2020年5月 公益財団法人日本財団主催 全国ホームヘルパー協議会「訪問介護現場における事業所が抱える課題並びに新型コロナウイルス対策に関する理論的支援課題ヒアリング」(学識経験者として助言)

2021年11月 社会福祉法人埼玉育児院母子生活支援施設カーサ・ライラック「学生ボランティア募集に関する依頼」(社会福祉科目担当教員として助言・対応)

橋爪 大輝

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

論文（単著）

- (1) 橋爪大輝「『悪の凡庸さ』はいかなる意義をもつか——アーレントの「倫理学」」『ハイデガー・フォーラム』第18号、ハイデガー・フォーラム、2024年、1-15頁。

訳書（共訳）

- (1) キャスリン・T・ガインズ（百木漠／大形綾／橋爪大輝訳）『アーレントと黒人問題』人文書院、2024年。

2. 学会発表

口頭発表（単独）

- (1) 橋爪大輝「[論文紹介] ウェーバーとベルクソンの交錯——アルフレート・シュッツの自由論」第53回ベルクソン哲学研究会、於・慶應義塾大学三田キャンパス、2024年3月24日。
- (2) 橋爪大輝「〈共一起源〉の論理と〈歴史叙述〉の問題——押山詩緒里『〈砂漠〉の中で生きるために』への問い」公開合評会「押山詩緒里著『〈砂漠〉の中で生きるために』」、日本アーレント研究会、於・Zoom（オンライン）、2024年10月16日。

4. 科研費等研究

- (1) 「『批判版全集』の精査にもとづいたアーレントの思想形成過程の解明」日本学術振興会科学研究費助成事業、基盤研究（C）、課題番号21K00100、期間2021年-2025年、研究分担者。
- (2) 「テクノロジー時代の人間の条件——アーレント思想の応用可能性」日本学術振興会科学研究費助成事業、基盤研究（C）、課題番号21K00042、期間2021年-2025年、研究分担者。

5. その他

- (1) 橋爪大輝「（書評）田野大輔・小野寺拓也編著『〈悪の凡庸さ〉を問い直す』」『週刊読書人』3515号、2023年11月17日、2面。
- (2) 橋爪大輝「（論壇時評）論潮〈1月〉」『週刊読書人』3522号、2024年1月12日、3面。
- (3) 橋爪大輝「（論壇時評）論潮〈2月〉」『週刊読書人』3526号、2024年2月9日、3面。
- (4) 橋爪大輝「（論壇時評）論潮〈3月〉」『週刊読書人』3530号、2024年3月8日、3面。
- (5) 橋爪大輝「（論壇時評）論潮〈4月〉」『週刊読書人』3534号、2024年4月5日、3面。
- (6) 橋爪大輝「（論壇時評）論潮〈5月〉」『週刊読書人』3538号、2024年5月10日、3面。
- (7) 橋爪大輝「（書評）林大地『世界への信頼と希望、そして愛』」『図書新聞』3640号、2024年5月25日、5面。
- (8) 橋爪大輝「（論壇時評）論潮〈6月〉」『週刊読書人』3542号、2024年6月7日、3面。
- (9) 橋爪大輝「（論壇時評）論潮〈7月〉」『週刊読書人』3546号、2024年7月5日、3面。
- (10) 橋爪大輝ほか「2024年上半期の収穫から」『週刊読書人』3549号、2024年7月26日、4面。
- (11) 橋爪大輝「（論壇時評）論潮〈8月〉」『週刊読書人』3551号、2024年8月9日、3面。

- (12) 橋爪大輝「(論壇時評) 論潮〈9月〉」『週刊読書人』3555号、2024年9月6日、3面。
(13) 橋爪大輝「(論壇時評) 論潮〈10月〉」『週刊読書人』3559号、2024年10月14日、3面。

II. 主な社会活動

1. 所属団体・職能団体および役職等

所属学会

日本倫理学会（会員）、社会思想史学会（会員）、政治思想学会（会員）、日本アーレント研究会（事務局長）、ハイデガー・フォーラム（会員）、日本哲学会（会員）

3. 研修会・講演会等

- (1) 「地域とは。(講演会)」司会＝兼清慎一、登壇＝斉藤奈央／橋本憲幸／橋爪大輝、於・山梨県立大学飯田キャンパス C101教室、2024年1月26日。
(2) 「FREE てつがく。(ワークショップ)」登壇＝斉藤奈央／橋本憲幸／橋爪大輝、於・TO-CHI（山梨県甲府市）、2024年3月1日。
(3) 子育て支援員研修「対人援助の価値と倫理」講師、於・山梨県立大学、2024年8月22日。
(4) 「『人間の条件』を読み解く～「真に働く」を哲学する」講師、不識庵 中堅社員研修リベラルアーツ講座、2024年9月13日。
(5) 「「行為」と「世界」——アーレントで考える人間の「生」(やまなし哲学・思想ネットワーク第1回パイロット企画)」講演・企画＝橋爪大輝、司会＝橋本憲幸、於・山梨県立大学飯田キャンパス C101教室、2024年10月24日。

林 知然

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

・実践報告

- (1) 林知然 (2024) 「Aさんの家族とのかかわりにおける自己決定支援—子どもの意見表明からはじまるファミリーソーシャルワーク実践—」山梨県立大学人間福祉学部紀要、19、19-31

・新聞コラム記事

- (2) 林知然 (2023) 『戦地に励まし届けよう』山梨日日新聞週刊こぴっと「やまなし探・研」、2023年12月14日

2. 学会発表等

- (1) 山田勝美, 井出智博, 有村大士, 林知然, 飯塚成亨 (2023) 「社会的養護におけるドリフト事象の実態とケア指標の作成に向けて」日本子ども虐待防止学会第29回学術集会
- (2) 西山弥希, 林知然 (2024) 「家庭復帰における地域に根ざした関係機関との連携—子ども家庭支援センターとの連携を中心に—」
- (3) 林紫艶, 林知然 (2024) 「過去を取り戻し、未来に繋げるライフストーリーワーカー A 君が自身を大切に、人生を紡いでいけるように—」日本児童養護実践学会第16回研究大会

3. 科研費等研究

[研究分担者]

- (1) 社会的養育におけるドリフト現象の実態把握とケア指標作成に向けての研究、日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究 (C)、2023年4月—2026年3月、研究代表者：山田勝美、研究分担者：井出智博、有村大士、林知然
- (2) A 児童養護施設における子ども間で発生している性的事故の把握ならびに性的事故の構造を明らかにする調査研究、山梨県立大学地域研究交流センター地域研究事業、2024年7月—2025年3月、研究代表者：林知然、共同研究者：永野真希

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- (1) 東洋大学社会福祉学会 (委員)
- (2) 日本社会福祉学会 (委員)
- (3) 子どもの権利条約総合研究所 (委員)
- (4) 東洋大学人間科学総合研究所 (委員)
- (5) 日本児童養護実践学会 (委員)
- (6) 日本子ども家庭福祉学会 (委員)
- (7) 日本子ども虐待防止学会 (委員)

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 児童養護施設東京家庭学校（家庭支援専門相談員）2023年4月－現在
- (2) 山梨県内 A 児童養護施設（スーパーバイザー）、2023年4月－現在
- (3) 甲府市子どもの権利擁護委員会（委員）2023年7月－現在
- (4) 八王子児童相談所フォスタリング機関里親委託等推進委員会里親委託等推進委員会委員
2024年4月－現在

3. 研修会・講演会等

- (1) 「子どもの権利－子どもの権利条約、子どもの代替養育に関するガイドラインなどを端緒に－」講師、児童養護施設西台こども館、2023年11月
- (2) 「子どもの福祉について」講師、里親認定前研修、社会福祉法人愛恵会乳児院八王子児童相談所フォスタリング、2024年4月
- (3) 「子どもの福祉について」講師、里親認定前研修、社会福祉法人愛恵会乳児院立川児童相談所フォスタリング、2024年5月
- (4) 「子どもの福祉について」講師、里親認定前研修、社会福祉法人愛恵会乳児院八王子児童相談所フォスタリング、2024年6月
- (5) 「子どもの福祉について」講師、里親認定後研修、社会福祉法人愛恵会乳児院立川児童相談所フォスタリング、2024年8月
- (6) 「児童虐待の防止と早期発見－子どもと親を地域で支える－」講師、令和6年度虐待防止研修会、甲府市社会福祉協議会 2024年8月
- (7) 「子どもの福祉について」講師、里親認定前研修、社会福祉法人愛恵会乳児院立川児童相談所フォスタリング、2024年9月
- (8) 「子どもの福祉について」講師、里親認定前研修、社会福祉法人愛恵会乳児院八王子児童相談所フォスタリング、2024年10月

池田 充裕

I. 主な研究活動

1. 著書・論文等

- (1) 池田充裕「シンガポールの就学前教育に関する政策動向ー教育省立幼稚園の設置とその背景」日本教育政策学会『日本教育政策学会年報』165-181頁、2024年7月（査読付）

2. 学会発表

- (1) 池田充裕「シンガポールにおける教育省立幼稚園の拡大要因と教育実践ー『就学前教育カリキュラム・フレームワーク』の理念と原則を踏まえてー」日本比較教育学会第60回大会、個人研究発表、2024年6月29日、名古屋大学。

3. 科研費等外部資金研究

- (1) 研究代表者「シンガポールにおけるアクティブ・ラーニングの評価・改善システムに関する実証的研究」2018～2023年度科学研究費補助金・基盤研究（C）（一般）（課題番号18K02392）。
- (2) 研究代表者「シンガポールの教育省立幼稚園の教育実践とその機能に関する実証的研究」2022～2025年度科学研究費補助金・基盤研究（C）（一般）課題番号（22K02332）。
- (3) 研究協力者「新たな学びの実現に向けた教育課程の在り方に関する研究」プロジェクト（国際調査班）委員、国立教育政策研究所、2023年5月～現在。
- (4) 研究協力者「幼小接続期の教育の質の基盤形成に関する研究」プロジェクト（国際比較班）委員、国立教育政策研究所、2023年4月～現在。
- (5) 研究協力者「海外教科書制度調査研究」公益財団法人教科書研究センター、2018年9月11日～現在。

4. その他

- (1) 池田充裕「学力世界一のシンガポール個性を伸ばす教育システム」TRANSIT、63号、講談社、120-121頁、2024年3月。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- ・日本比較教育学会、日本教育学会、異文化間教育学会、日本教育行政学会、日本教育制度学会、日本教育政策学会、日本保育学会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県教育委員会・教員育成協議会（委員）
- (2) 山梨県教育委員会・少人数教育推進検討委員会（委員）
- (3) 山梨県教育委員会・教職の魅力発信強化事業検討委員会（委員）

- (4) 山梨県教育委員会・総合教育センター活性化検討委員会（委員）
- (5) 山梨県教育委員会・教育委員会の活動状況報告「学識経験者からの意見」担当
- (6) 山梨県・私立学校審議会（委員）
- (7) 甲府市国際交流課・甲府市多文化共生推進委員会（委員）
- (8) 甲斐市教育委員会・甲斐市いじめ問題対策委員会（委員）
- (9) 甲斐市教育委員会・甲斐市いじめ防止連絡会議（委員）
- (10) 中央市教育委員会・中央市教育振興基本計画中期計画策定委員会（委員長）
- (11) 中央市教育委員会・中央市学校施設のあり方検討委員会（委員長）
- (12) 中央市教育委員会・教育委員会の活動状況報告「学識経験者からの意見」担当
- (13) 笛吹市子供すこやか子育て支援課・笛吹市子ども・子育て会議（委員）
- (14) 昭和町子育て支援課・昭和町子ども・子育て会議（副委員長）
- (15) A 校いじめ問題調査委員会（委員長）
- (16) 日本 PTA 全国協議会・PTA 関係文部科学大臣表彰候補選考委員会（委員）
- (17) 甲府信用金庫・公益財団法人しんきん育英会（理事）
- (18) 大学コンソーシアムやまなし・未来のまなび運営委員会（委員）

3. 研修会・講演会等

- (1) 池田充裕「外国とつながりのある子ども達を受け入れるにあたっての諸課題についてー幼児教育・保育の現場を踏まえてー」山梨県子育て支援局子育て政策課「第1回山梨県国際保育推進研修『外国人のことを知ろうー山梨県の現状、文化・慣習、外国人の本音』」講師、2023年11月25日。
- (2) 池田充裕「シンガポールの幼児教育・保育制度について」国立教育政策研究所「幼小接続期における教育の質の基盤形成に関する研究」プロジェクト、国際比較班第2回研究会発表、2024年2月6日。
- (3) 池田充裕「シンガポールの高等学校（後期中等教育段階）への入学者の決定方法について」文部科学省・富士通総研「多様な背景を有する生徒の現状及び中等教育機関に関する国際的な動向に係る調査研究」ヒアリング発表、2024年2月8日。
- (4) 池田充裕「地域保育コース（地域型保育）」講師（「総合演習」「グループ討議」担当）山梨県福祉保健部子育て支援課「子育て支援員研修」2024年8月22日、9月5日。
- (5) 池田充裕「人間形成学科の学びについて」山梨県立甲府昭和高等学校「大学説明会」2024年9月19日。
- (6) 林康成、請川滋大、佐藤栄作、高野牧子、池田充裕「保育所保育における ICT 化～情報化によるコミュニケーションの可能性」全国保育士養成協議会「令和6年度全国保育士養成セミナー第9分科会」企画・準備担当、2024年8月30日。

奥谷 佳子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

著書

- (1) 発達179 秋田喜代美・大豆生田啓友・川田学（監修）ミネルヴァ書房 分担執筆部分
協同的な遊びと活動を支える、保育者の言語的援助 pp.50-55（2024年8月）

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本保育学会

日本乳幼児教育学会

日本家政学会

日本臨床発達心理士会

日本発達心理学会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 幼児教育推進委員会委員（山梨県）2024年度

- (2) 幼児教育アドバイザー（山梨県）2024年度

3. 研修会・講演会等

- (1) 子育て支援員研修 地域保育コース（地域型保育）講師 「子ども・子育て家庭の現状」「保育の原理」担当 2024年8月19日 主催：山梨県福祉保健部子育て支援課 会場：山梨県立大学飯田キャンパス
- (2) 山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 中部地区研究会講師 第2分科会「同僚性を育む“語り合い”“学び合い”」担当 2023年11月15日、2024年1月10日 主催：山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 会場：中部地区の幼稚園
- (3) 山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 中部地区研究会講師 第2分科会「乳児保育から幼児期への連続性の理解と共有」担当 2024年6月5日、7月3日、7月31日、10月9日 主催：山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 会場：中部地区の幼稚園
- (4) 山梨県認定こども園設置者連絡会研究会講師「主体的・対話的な保育」 2024年7月9日、8月6日、10月22日 主催：山梨県認定こども園設置者連絡会 会場：山梨県立大学
- (5) 山梨県幼児教育研究協議会講師 「協議主題 記録を生かした保育の評価と保育及び指導計画の改善について」2024年6月18日、8月20日、11月26日 主催：山梨県教育委員会 会場：山梨県立青少年センター
- (6) 月齢別講座講師 「絵本の世界を一緒に楽しみましょう」2024年6月14日 主催：甲府市幼児教育センター 会場：北部幼児教育センター
- (7) 令和5年度幼稚園・保育所等新規採用教員研修会講師 「0, 1, 2歳児の発達と保育」2024年7月23日 主催：やまなし幼児教育センター 会場：山梨県立図書館
- (8) 令和6年度園内研修リーダー育成研修講師「第4回園内研修の実際」「第5回園内研修の

実践発表」担当 2024年8月28日、11月28日 主催：やまなし幼児教育センター 会場：
山梨大学

(9) 令和6年度中部地区講演会講師「子どもと保育者との対話」2024年7月31日 主催：山
梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 会場：石和誠心幼稚園

越山 沙千子

I 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

(1) 著書

- 1) 石井玲子, 水崎誠, 鈴木慎一郎, 越山沙千子, 他41名 (2020)『表現者を育てるための保育内容「音楽表現」一音遊びから音楽表現へー』教育情報出版, 【分担執筆】担当箇所: 第8章第3節「わらべうたとは」 pp.89-92
- 2) 吉永早苗, 越山沙千子, 立川泰史, 新開よしみ, 他10名 (2022)『子どもの活動が広がる・深まる保育内容「表現」』中央法規出版, 【分担執筆】担当箇所: 第5章「保育室における表現①」 pp.54-62, 第6章第2節「保育室の特性を生かした表現遊び」 pp.69-72, 第7章第1節「子ども理解の観点から」 pp.76-78及び第4節「豊かな表現活動にするために」 pp.84-86

(2) 論文

- 1) 越山沙千子 (2020)「東京府立第四高等女学校における野矢トキの授業実践ー昭和11 (1936) 年卒業生の「音楽ノート」を手がかりにー」『実践女子大学生生活科学部紀要』第57号, pp. 37-46 (査読有)
- 2) 越山沙千子 (2020)「実践女子学園 校歌に関する研究」『実践女子大学下田歌子記念女性総合研究所年報』第6号, pp.51-70 (査読有)
- 3) 越山沙千子, 吉永早苗, 那須信樹, 渡邊佐恵子, 他11名 (2020)「領域『表現』における『専門的事項』の教授内容の検討ー教科書目次及びシラバスのテキストマイニングをもとにー」『乳幼児教育・保育者養成研究』第1号, pp.47-65 (査読有)
- 4) 越山沙千子, 渡邊佐恵子, 吉永早苗, 新開よしみ, 立川泰史 (2020)「領域『表現』科目 (専門的事項) の授業構成に向けての提案ー専門性の融合を目指した授業実践の分析からー」『現代児童学研究』第3巻第1号, pp.13-25 (査読有)
- 5) 越山沙千子 (2021)「高等女学校の音楽教科書の特徴と内容の変遷ー『女子音楽教科書』の歌詞内容の分析を通してー」『音楽教育研究ジャーナル』第55号, pp.1-14 (査読有)
- 6) 越山沙千子, 吉永早苗, 那須信樹, 和田美香, 他11名 (2022)「領域『表現』における『専門的事項』の教授内容検討Ⅱー7つのキーワード及び教授・学習・成長パラダイムの視点からー」『乳幼児教育・保育者養成研究』第2号, pp.65-78 (査読有)
- 7) 越山沙千子 (2023)「高等女学校音楽教科書の歌唱教材の分析ータイトルの語の特徴の変遷に着目してー」『実践女子大学生生活科学部紀要』第60号, pp.1-8 (査読有)
- 8) 越山沙千子, 井口眞美 (2022)「領域『表現』の専門的事項科目における授業実践: 幼児の総合的な表現の体験を目指した試み」『実践女子大学教職センター年報』第6号, pp.31-41 (査読有)
- 9) 越山沙千子 (2023)「高等女学校の音楽科教育ー教科書、授業実践を中心とした発展の過程ー」(東京藝術大学大学院博士論文)

(3) 研究ノート

- 1) 越山沙千子, 吉永早苗, 和田美香, 赤津裕子, 他12名 (2024) 「学生が安心して取り組むことのできる領域『表現』の授業提案に向けてー保育者養成校における表現活動の実践事例からー」『乳幼児教育・保育者養成研究』第4号, pp.49-61 (査読有)

(4) 演奏

- 1) 安藤由香, 津金久子, 山西さや香, 越山沙千子 「うたのコンサート」 於: NRE 新川崎弥生テラス, 2019年12月2日
- 2) 安藤由香, 津金久子, 山西さや香, 越山沙千子 「初春こんさあと in 狭山庵」 於: 狭山庵, 2020年2月8日
- 3) 安藤由香, 津金久子, 山西さや香, 成田博之, 越山沙千子 「狭山庵こんさあと vo.2」 於: 狭山庵, 2021年9月4日
- 4) 成田博之, 安藤由香, 津金久子, 山西さや香, 越山沙千子 「成田博之と愉快的仲間たち」 於: カーサ・モーツァルト, 2023年8月5日
- 5) 安藤由香, 津金久子, 山西さや香, 成田博之, 越山沙千子 「愉快的仲間たちコンサート in Summer」 於: カーサ・モーツァルト, 2023年8月5日
- 6) 山西さや香, 堤絵理, 越山沙千子 「クラシック サロン・コンサート」 於: 松明堂音楽ホール, 2024年6月16日
- 7) 瀧本紘子, 保川将一, 越山沙千子 「ミニコンサート」 (第22回アフタヌーンティーセミナー内) 於: KKR 江ノ島ニュー向洋, 2024年10月27日

2. 学会発表

- (1) 越山沙千子, 新開よしみ, 吉永早苗, 倉原弘子, 那須信樹, 渡邊佐恵子 「領域『表現』の授業内容に関する検討ーソースブック等、過去の検討内容に学ぶー」 日本保育者養成教育学会第4回研究大会, 2020年3月 【ポスター発表】
- (2) 新開よしみ, 吉永早苗, 越山沙千子, 渡邊佐恵子 「領域『表現』の専門的事項の授業において、教員の専門性はどのように生かされるのか」 日本保育者養成教育学会第4回研究大会, 2020年3月 【ポスター発表】
- (3) 細江容子, 高橋桂子, 水野いずみ, 大澤朋子, 越山沙千子 「社会関係資本創出を想定した高齢者へのジェロントロジー教育の展開」 日本家政学会第72回大会, 2020年5月 【ポスター発表】
- (4) 越山沙千子 「高等女学校音楽教科書内容の検討ー内容充実化とその要因を中心にー」 日本音楽教育学会第51回大会, 2020年10月 【口頭発表】
- (5) 吉永早苗, 那須信樹, 和田美香, 島田由紀子, 赤津裕子, 新開よしみ, 越山沙千子, 中村光絵, 倉原弘子, 深尾秀一, 光井恵子, 吉岡亜砂美, 渡邊佐恵子 「領域『表現』の遠隔授業事例から考える『保育者の実践力』」 日本乳幼児教育・保育者養成学会／保育教諭養成課程研究会第1回研究大会, 2020年12月 【ポスター発表】
- (6) 企画者: 今川恭子, 話題提供者: 赤津裕子, 木村充子, 越山沙千子, 山本直樹 「養成校における領域『表現』の展望ーアフターコロナの授業を一緒に考えませんかー」 日本保育学会第74回大会, 2021年5月 【自主シンポジウム】

- (7) 企画者：今川恭子，話題提供者：赤津裕子，伊原小百合，木村充子，越山沙千子，長井寛子，二宮紀子，山本直樹「養成校における領域『表現』の展望－上手でなければいけないか，上手でなくてもいいですか－」日本保育学会第75回大会，2022年5月【自主シンポジウム】
- (8) 越山沙千子「公立高等女学校本科における音楽科教育－明治期に東京市で開校した3校の事例の検討」音楽学習学会第19回研究大会，2023年8月【口頭発表】
- (9) 越山沙千子「高等女学校音楽科教科書の歌唱教材－欧米の教科書、歌集との関連を中心に－」日本音楽学会第74回全国大会，2023年11月【口頭発表】
- (10) 越山沙千子「高等女学校の音楽科教育－教科書、授業実践を中心とした発展の過程－」東洋音楽学会東日本支部第140回定例研究会，2024年6月【口頭発表】
- (11) 越山沙千子，市川恵，石上則子「音楽的な思考を深める楽曲との『出会い直し』－小学校と高等学校における〈白鳥〉を教材とした鑑賞授業の比較を通して－」全日本音楽教育研究会大学部会，2024年9月【口頭発表】
- (12) 市川恵，石上則子，越山沙千子，堤由衣，泉碧衣「声を使った音楽表現による学びの連続性－校種間の連携を踏まえたカリキュラムの開発に向けて－」日本音楽教育学会第55回大会，2024年10月【共同企画】

3. 科研費等研究

- (1) 研究分担者「社会関係資本創出を想定した Fourth Age へのジェロントロジー教育の展開」2019～2022年度，科学研究費補助金・基盤研究（C）（課題番号：19K02512，研究代表者：細江容子）
- (2) 研究代表者「高等女学校における音楽科教育の比較分析と女学生の洋楽受容に関する研究」2020年度～現在，科学研究費補助金・若手研究（課題番号：20K13880）
- (3) 研究分担者「ポストコロナにおける社会関係資本創出を想定したジェロントロジー教育の展開」2022年度～現在，科学研究費補助金・基盤研究（C）（課題番号：22K02318，研究代表者：細江容子）
- (4) 研究分担者「『音楽を教えること』の専門性：教師・音楽指導者・保育者のライフヒストリー研究」2024年度～現在，科学研究費補助金・基盤研究（C）（課題番号：24K06025，研究代表者：石川眞佐江）

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

(1) 所属学会

日本音楽教育学会，日本音楽学会，日本音楽教育史学会，保育教諭養成課程研究会，日本保育者養成教育学会，日本保育学会，音楽学習学会，日本乳幼児教育・保育者養成学会，現代児童学研究会，全日本音楽教育研究会，東洋音楽学会

(2) 役職等

- 1) 日本乳幼児教育・保育者養成学会「領域『表現』研究部会」副部会長2021年11月～現在

2) 日本音楽教育学会参事, 2023年度

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 日野市「手をつなごう・こどもまつり」実行委員, 2018年4月～2022年11月
- (2) 日野市さかえまち児童館運営協議会委員, 2021年1月～2023年3月
- (3) キャンパスネットやまなし企画運営会議委員, 2024年度～現在

3. 研修会・講演会等

- (1) シニアパソコンカレッジ@実践女子大学「人生100年時代の新たなシニアへの変身③」講師, 2019年11月23日
- (2) 桐朋幼稚園「音の探検隊」講師 (代表: 今川恭子), 2021年3月8日
- (3) ナーサリールーム ベリーベア深川冬木「音の探検隊」講師 (代表: 今川恭子), 2021年7月9日
- (4) 立川女子高等学校Sプロジェクト講師, 2022年度
- (5) 桐朋幼稚園「音の探検隊」講師 (代表: 今川恭子), 2022年6月27日
- (6) 日野市さかえまち児童館「世界のめずらしい楽器であそぼう」講師, 2022年8月4日
- (7) 桐朋幼稚園「音の探検隊」講師 (代表: 今川恭子), 2024年2月20日
- (8) 西砂学習館「一緒に楽しもう! 0歳からの音楽」講師・ピアノ, 2024年3月23日
- (9) 甲府市中央部幼児教育センター「月齢別講座 聴く力を育ててみませんか」講師, 2024年6月21日
- (10) 日野市さかえまち児童館「世界のめずらしい楽器であそぼう～ピアノに合わせてアンサンブル～」講師, 2024年8月3日

里見 達也

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

- ・「子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育：ソーシャル・インクルージョン時代における理論と実践」、小原敏郎・橋本好市・三浦主博編、分担執筆、第7章第4節「障害児保育における子どもの健康と安全」P139-P144、みらい出版、2024年3月
- ・「(保養協発第5-042号) 令和5年度一般社団法人保育士養成協議会関東ブロック研究助成「新型コロナウイルスの5類移行期における関東地方の保育実習のあり方と保育者養成」研究報告書」、田中卓也・藤田佳子・北澤明子・野見山直子・里見達也・浅見優哉・木戸直美編著、「新型コロナウイルスの5類移行期における関東地方の保育実習のあり方と保育者養成」研究グループ、2024年3月
- ・「小学校・特別支援学校の先生の魅力向上をめざすシンワークブック」、田中卓也・松村 齋・時田詠子・鈴木和正・中澤幸子・小田桐早苗編著、分担執筆、第2教室昼休み1「特別支援学校の先生と遊ぼう!」・2「学級文庫や図書室で本を探そう!読んでみよう!」P188-P191、第2教室10時間目「特別支援学校の先生になるひとにぜひおすすめしたい著書」P218-P219、大学図書出版、2024年7月
- ・「ダイバーシティ・インクルージョン保育を進めるための園経営ガイドブック」、田中謙・小川英彦編著、分担執筆、Q6「重度・重複障害児もともに育つ環境を整えていくためには?」P168-P170、三学出版、2024年7月

2. 学会発表

- ・里見達也・田中卓也・北澤明子・藤田佳子・野見山直子・浅見優哉・木戸直美、「新型コロナウイルスの5類移行期における関東地方の保育実習のあり方と保育者養成ー山梨県の事例を中心にー」、日本保育学会第77回大会(神戸大学:オンライン開催)、ポスター発表、P-B-9-04、2024年5月11日

3. 報告書

- ・(2024 山梨の子ども白書) 山梨の子ども白書編集委員 (2023.9 ~ 2024.9)
- ・(2025 山梨の子ども白書) 山梨の子ども白書編集委員 (2024.9 ~ 現在)

4. 科研費等研究

- ・なし

5. その他

- ・なし

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本乳幼児教育学会、日本保育学会、日本特殊教育学会、日本臨床教科教育学会、日本育療学

会、日本教育心理学会、日本応用教育心理学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本
肢体不自由教育研究会、全日本特別支援教育研究連盟

2. 行政・関係団体活動等

- ・山梨県立甲府支援学校 学校評議員
- ・社会福祉法人しあわせ会評議員選任・解任委員
- ・山梨の子ども白書編集委員会事務局
- ・甲州市公立保育所のあり方検討協議会 委員長

3. 研修会・講演会等

- ・令和6年度甲府市月齢講座「発達の気づきを笑顔にする魔法の言葉掛けとは？」、(2歳児)
2024年6月12日
- ・令和6年度子育て支援員研修会「A7子どもの障害」・「B7地域の環境整備」・「B9保育者の
職業倫理と配慮事項」・「B10特別の配慮を必要とする子どもへの対応」・「C5見学オリエン
テーション」講師、2024年8月19日、29日、会場：山梨県立大学B館1階講堂
- ・令和6年度放課後児童支援員認定資格研修「障害のある子どもの理解」講師、2024年10月9
日、山梨県立青少年センター別館2階多目的ホール

高野 牧子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

(1) 専門誌

(単著) 高野牧子：「加盟団体と連盟 ー共に歩み続けるー」『女子体育 Dance Education for All』Vol.66-4 pp.48-49

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

公益社団法人 日本女子体育連盟

日本体育学会、舞踊学会、日本保育学会、日本発育発達学会、体育科教育学会、
山梨県女子体育連盟アドバイザー

2. 行政・関係団体活動等

(1) 山梨県子ども・子育て会議委員

(2) 山梨県保育等人材確保・定着等協議会 委員長

(3) 山梨県保育・教育の質向上部会委員

(4) 令和6年度山梨県養護母子審査部会委員

(5) 文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会専門委員会体育専門委員

(6) アライアンスやまなし幼児教育部会委員

(7) 公益財団法人日本学校体育研究連合会 全国学校体育授業優秀教員選考委員

3. 研修会・講演会等

(1) 富士河口湖町子育て支援わいわい教室（2歳児コース）講師 年10回

(2) あけぼの医療福祉センター, タムタム, 親子教室講師 年2回

(3) 昭和町子育てボランティア講習講師 2024.7.31.

(4) (公社) 日本女子体育連盟 第57回全国女子体育研究大会（東京）講師 2024.8.21.

(5) 令和6年度子育て支援員研修 講師 2024.9.12.

(6) 甲府市幼児教育センター 月齢別講座講師（1歳8か月～2歳未満）2024.10.25.

(7) 笛吹市子育て支援者フォローアップ研修講師 2024.11.18.

(8) 第18回 JAPEW ダンスムーブメントセミナー 2024 in 山梨 コーディネーター
2024.11.23.

林 康成

I. 主な研究活動

1. 著書・論文等

(1) 著書

- 1) 栗田ほか (2024)「未来の学び 小学生のための生涯学習講座」, 分担執筆: 林康成「発見する科学を楽しもう」大学コンソーシアムやまなし

(2) 論文

- 1) 林康成・島田英昭 (2023)「小学校理科における全体的協働による説明活動が考察の記述力に及ぼす効果ー第5学年における「ふりこの運動」を事例に一」, 理科教育学研究 (日本理科教育学会), 第64巻, 第3号, 287頁-299頁
- 2) 林康成・興治文子 (2024)「小学生の加減速運動に対する気付きにおける平均速度概念の関与の実態と影響」, 物理教育 (日本物理教育学会), 第72巻, 第2号, 109頁-114頁
- 3) 林康成・長谷川 大和・林大樹・興治文子 (2024)「野外観察の事前学習に身体化デザインを取り入れることによる 天体の位置の把握に与える影響」, 臨床教科教育学会誌 (臨床教科教育学会), 第24巻, 第1号, 21頁-30頁
- 4) 林康成・興治文子・島田英昭 (2024)「小学校理科の相互教授における 共感的配慮行動の促進が成績下位層の学習成績に与える効果」, 理科教育学研究 (日本理科教育学会), 第65巻, 第2号, 掲載決定
- 5) 林康成・興治文子 (2024)「全体的協働におけるクラウドによる相互参照が考察記述に課題をもつ学習者に与える効果」, 臨床教科教育学会誌 (臨床教科教育学会), 第24巻, 第2号, 掲載決定

(3) 学会発表等

- 1) Yasunari Hayashi, Fumiko Okiharu (2024) .The Effect of Promoting Empathic Behavior on Cooperation in Reciprocal Teaching of Elementary School Science, EASE-ICMScE Joint Conference 2024.

II. 主な社会活動

1. 所属学会・役職

[所属学会]

日本理科教育学会, 日本科学教育学会, 臨床教科教育学会, 日本教科教育学会, 日本教育工学会, 日本物理教育学会

2. 行政・関係団体活動等

- 1) PTA 関係文部科学大臣表彰候補選考委員 (2023年4月～現在)
- 2) 臨床教科教育学会理事 (2024年4月～現在)

3. 研修会・講演会等

- 1) 全国保育士養成セミナー パネル司会 (2024年8月)
- 2) 講座講師 甲府市月齢別講座 (2024年10月)

古屋 祥子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

<論文>

- (1) 武末裕子、ロレッタ・セッキ、古屋祥子、大内進 (2024) 「日伊協力・地域連携触覚鑑賞ツール作成による可能性」(査読あり) 大学美術教育 第56号 pp.145-152

<研究ノート>

- (2) 古屋祥子 (2024) 「小石の模刻活動による教育的効果についてー保育士および幼稚園・小学校教諭養成課程における立体造形の実技演習からー」(査読あり) 東京藝術大学美術教育研究会「美術教育研究」No.29 pp.42~49

<報告書>

- (1) 武末裕子、古屋祥子他 (2024) 「手でみるプロジェクト2023報告書」

<美術作品発表>

- (1) 古屋祥子、石川智弥「あたたかいゆめ」(立体作品) 手でみるプロジェクト2023「ふれてみる展覧会 in 台湾」「用手去看見世界」[台湾・台中 光之艺廊]2023年11月
- (2) 古屋祥子、石川智弥「あたたかいゆめ」(立体作品) 手でみるプロジェクト2023「ふれてみる展覧会 in 台湾」「用手去看見世界」[台湾・新北市 板橋435藝術特区]2023年11月
- (3) 古屋祥子、石川智弥「てぎわりの旅」(インスタレーション)「ユニバーサル・ミュージアムーさわる!“触”の大博覧会」国立民族博物館 直方巡回展 2024[直方谷尾美術館](福岡県) 2024年7月
- (4) 古屋祥子、石川智弥「やわらかい面影」(立体作品) 手でみるプロジェクト2024「ふれてみる展覧会 in 台湾」「用手去看見世界」[彰化県立美術館]2024年9月
- (5) 古屋祥子「我想觸摸的東西」(創作絵本)「ふれてみる展覧会 in 台湾」「用手去看見世界」[彰化県立美術館]2024年9月
- (6) 古屋祥子、石川智弥「やわらかい面影」(立体作品) 手でみるプロジェクト2024「ふれてみる展覧会」[山梨県立図書館交流ルーム101,102]2024年10月
- (7) 古屋祥子「我想觸摸的東西」(創作絵本) 手でみるプロジェクト2024「ふれてみる展覧会」[山梨県立図書館交流ルーム101,102]2024年10月
- (8) 古屋祥子、石川智弥「てぎわりの旅」(インスタレーション)「ユニバーサル・ミュージアム 大分出張展」[大分県立美術館] 2024年10月

2. 科学研究費

- (1) 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究C「触覚教育のための『さわる絵本』の研究および制作プログラムの開発・実践」研究代表者 R5~7年
- (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究C「感染対策をふまえた日伊・日台国際連携による触覚美術鑑賞ツール開発・実践研究」研究分担者 R4~6年

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- ・美術教育研究会 委員（役員）
- ・美術解剖学会 運営委員
- ・大学美術教育学会 会員
- ・日本藝術メダル協会（J.A.M.A.）会員
- ・国際メダル協会（F.I.D.E.M.）会員

2. 行政・関係団体活動等

- （1）山梨大学・山梨県立大学・山梨県立図書館・山梨県立盲学校共催事業「手でみるプロジェクト2023」実行委員
- （2）山梨大学・山梨県立大学・山梨県立図書館・山梨県立盲学校・大葉大学共催事業「手でみるプロジェクト2024」実行委員

3. 研修会・講演会等

- （1）板橋435藝文特區ワークショップ 講師（新北市・台湾）2024.8
- （2）富士河口湖町3歳児親子ふれあい教室 講師 2024.9
- （3）認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森 美術活動 講師 2023.12,2024.2,7,10
- （4）認定こども園 学校法人市川幼稚園 美術活動 講師 2023.2,6/18.25,9,
- （5）甲府市幼児教育センター（中道、北部）月齢別講座 2024.6